



# 幸せ実感できるまちづくりを 布目ゆきお市政直行便

2020年新春号  
NO.53

【編集・発行】  
長野市議会議員・布目裕喜雄  
布目ゆきお後援会  
長野市安茂里小市 1-4-10 ☎227-3537

## 台風19号災害からの復興元年に “ONE NAGANO”で希望と安心をつなごう

2020年は「復興元年」です。

昨年10月、日本列島を襲った台風19号災害は、長野市をはじめ千曲川流域に未曾有の甚大な被害をもたらしました。市内では千曲川の堤防決壊・氾濫等により約4,000戸が浸水し、800世帯を超える皆さんが仮設住宅等での仮住まいで年を越すことになりました。亡くなられた2名の方に哀悼の意を表すとともに被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

被災者の皆さんの生活再建、生業(なりわい)の再建に向けた復旧・復興の道のりは緒に就いたばかり、本格的な復興はまさにこれからです。



千曲川の堤防決壊地点の長沼・穂保地区。言葉を失う甚大な被害。

「One Nagano」＝「みんなでひとつに がんばろう信州」…被災者の皆さんに寄り添い続け、一日も早い復興を成し遂げていきたいと切に願います。市議会の役割もより重要となっています。

少子超高齢化が急速に進み、格差と貧困が広がる中、人口減少社会への対応、子育て支援の推進、雇用の安定、産業の振興、中山間地域の活性化、公共施設の見直しなど、住み慣れた地域で住み続けられるよう、山積する市政の課題解決に向けて、全力を尽くす所存です。

2020年、すべての市民の皆さんの幸せを願い、日常に笑顔を取りもどし希望をつなぐ一年にしたいものです。

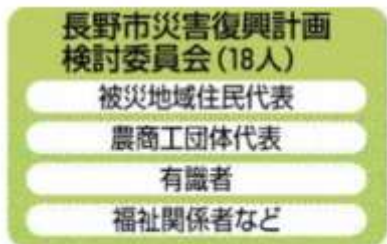
長野市議会議員 布目 裕喜雄

### 「安全・安心」「生業」「賑わい」 三つの再生を柱に「復興計画」策定へ

市では行政内に復興局を創設し、災害復興の本格化を目指し、「復興計画」の策定に着手しています。

1月14日には「復興計画」作りを議論する検討委員会(委員長＝松岡保正・長野高専名誉教授)が開かれ、被災者の意見を計画に反映させるため、浸水被害の大きかった市内6地区(長沼・豊野・古里・篠ノ井・松代・若穂)の住民自治協議会(自治協)役員6人が委員として参加。「安全・安心」「生業」「賑(にぎ)わい」の3分野の「再生」を基本方針に掲げ、「地区別計画」も策定することに。計画期間は2020～24年度の5年間です。

真に被災者の皆さんに寄り添った計画となるよう積極的に提言していく所存です。



基本方針	施策
安全・安心の再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民生活の再建</li> <li>生活基盤の再生</li> <li>防災力の向上</li> </ul>
なりわい 生業の再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業基盤の再生</li> <li>産業・経済の振興</li> </ul>
にぎ 賑わいの再生	<ul style="list-style-type: none"> <li>活力の創出</li> <li>産業の高付加価値化</li> </ul>

長野市災害復興計画検討委員会

## 12月議会 トピックス

# 災害復旧に260億5,100万円の 補正予算を即決、速やかな執行を

昨年11月28日に始まった12月市議会定例会は、災害からの復旧途上にある中、まさに「復旧・復興議会」となりました。

災害復旧費212億8,300万円を盛り込んだ一般会計補正予算案、水道事業会計・下水道事業会計の災害関連予算案を初日に可決し、速やかな予算執行を求めました。

災害関連では、10月30日付で専決処分され初日に承認した補正予算47億6,800万円と合わせ、260億5,100万円に上ります。

内容は、避難所の施設費・運営費、災害ボランティアセンターの運営費、災害廃棄物の処理費、高齢者福祉施設や小・中学校など被災公共施設の復旧費、通学支援費、被災者生活再建支援金などが主なものです。

### 「復興に関する決議」を採択

「令和元年台風19号災害からの復興に関する決議」を全会一致で可決し、市議会としての決意を確認しあいました。

決議のエッセンスは「被災地の復旧・復興、被災された皆様の生活再建や生業の再建に向け、市民それぞれの思いがしっかりと報われるよう、国・県に対し従来の制度にとらわれない支援を強く要請していくとともに、一日も早くまちの活気と安心な暮らしを取り戻すために、長野市議会は全力を傾注していくことをここに表明する」というものです。

### 国・県への要望書を取りまとめ提出

市議会では発災以来、「長野市議会災害対策連絡本部」を設置し、市への緊急要望等に取り組

んできましたが、国や県に対しても市議会として復旧・復興に向けた支援策を要望することが重要であると改革ネットから提案し、議会運営委員会のもとにワーキング・グループを作り要望事項を取りまとめました。改革ネットからは私が委員になっています。

国には、立ヶ花狭窄部の早期改修など千曲川の抜本的な治水対策をはじめ、被災者支援の拡充、災害救助法の適用範囲の拡大、特別交付税による財政支援の拡充、精神科医等によるワンストップ相談体制の確立、児童・生徒の心のケアの体制確立への財政支援等々を求めました。

今後も、被災者生活再建支援制度の充実など新たな仕組みの構築などをまとめ要望していく予定です。

## 避難所の運営支援や被災者の相談サポートに全力

**私布目**、10月13日の発災直後から、指定避難所となった「北部スポーツレクリエーションパーク」「昭和の森運動公園」「豊野西小学校」を訪問し、避難住民の皆さんの切羽詰まった要望をお聴きし、市や県の災害対策本部(危機管理防災課)につなぎ、対応が早急に進むよう取り組んできました。初期段階では防寒対策や情報提供、乳幼児への支援が大きな課題でした。

17日からは自主避難所とされ市職員の支援が入らず地元自治会で運営する「豊野北公民館」(8世帯19人)にほぼ連日足を運び、被災避難者の皆さんの声や相談に寄り添い、避難所の質の向上、健康管理、避難生活物資の調達、自宅の片付け、各種手続き、仮設住宅への入居や民間アパートの借上げ、仮住まいへの引っ越し支援に微力ながら取り組んできました。

途方に暮れる避難住民の皆さんに、「必ずや



生活再建はできる」との希望の道筋を見出したという想いに駆られての支援行動です。

今も仮設住宅等への訪問を続けています。生活再建が達成できるまで寄り添い続けたいと思います。【写真＝避難所閉鎖で豊野北公民館でのお別れ会】

# 松代荘の日帰り入浴料金と松代藩文化施設の入場料 利用料金引き上げに反対、修正案を提出



修正案不採択に対する反対討論の場面より

12月定例会には、二つの利用料金引き上げの条例改定案が提出されました。一つは国民宿舎松代荘のリニューアルに伴い、宿泊料金等を見直すとともに日帰り入浴料金を現在の510円から600円に引き上げるもの。二つは真田宝物館や文武学校など松代藩文化施設の入場料を現行から一挙に2倍に引き上げるもので、例えば、真田宝物館は300円を600円に、文武学校は200円を400円に改訂する内容です。

二つの議案に対し、それぞれ修正案を提出しましたが、修正案に対する明確な反対論拠が示されることなく賛成少数で否決されてしまいました。残念です。

## 松代荘日帰り入浴料金…510円の継続を求める修正提案

国民宿舎の役割は、高付加価値が求められるなど時代の変遷により変化してきました。しかしながら、特に日帰り入浴や入浴とセットの宴会利用は、長野市民の利用割合が高く、市民公益性の観点から、市民誰もの憩いの場として低廉なサービスを提供することが求められます。

しかも、市民の憩いと健康増進につながる日帰り入湯料の引き上げを実施しなくとも、収益を上げられる収支見込にあることから、現状維持を強く求めました。



## 松代藩文化施設…激変緩和で1.5倍料金とする修正提案



松代藩文化施設の入場料は10年以上にわたり据え置かれてきた経過にありますが、「行政サービスの利用者の負担に関する基準」に基づく3年ごとの利用料金の見直しはどのように検討されてきたのか、全く定かでなく、行政としての説明責任が十分に果たされていません。行政の不作为として責任が問われるべき問題でしょう。

一挙に2倍にする利用料金設定の発想そのものを問題視し、1.5倍の料金設定で激変緩和の対応を図り、重要な観光資源でもある文化財の意義を広げ有効活用をはかるため利用者増を目指す取り組みを求め、修正案としたものです。

## しかし、明確な反対論拠示されず、賛成少数で否決に

二つの修正案は、新友会や公明の議員の賛同を得られず、残念ながら実らせることができませんでした。

松代荘日帰り入浴料金は露天風呂の改修後のR3年の3月頃から、松代藩文化施設の入場料

は今年7月から引き上げられることとなります。

利用料金の引き上げが、リニューアルに伴う松代荘の利用者増や重要な観光資源でもある松代藩文化施設の利用者増に果たしてつながっていくのか、厳しくチェックしていきます。

## 4,257票で5期目当選 皆さんの期待と負託に 全力で応えてまいります

昨年9月の長野市議選では3位で当選を果たすことができました。本当にありがとうございました。

市民が主役となって幸せ実感できるまちづくりに向け、支えていただいた地元安茂里の皆さんをはじめ、働く仲間の皆さんの期待と負託に誠実に応え、責任を果たしていく決意です。



## 改革ながの市民ネット…6人で再スタート

新しい議会構成では、市議会会派「改革ながの市民ネット」(略称＝改革ネット)を継続することとし、新人で当選された東方みゆき議員を迎

### 建設企業委員会、議会運営委員会、小・中学校の在り方調査研究特別委員会に所属

5期目の1年目は、常任委員会は建設企業委員会(建設部・都市整備部・上下水道局を所管)と議会運営委員会(議会の円滑な運営や議長からの諮問事項の調査・審査を所管)に、特別委員会は小・中学校の在り方調査研究特別委員会(少子化

え、6人の会派で再スタートすることになりました。共産党議員団と同数の第二会派です。

引き続き、会派の幹事長を務めます。

を踏まえ、小規模な小・中学校を取り巻く子どもの教育環境と地域の在り方について調査・研究を行うもの)に所属することになりました。

特別委員会では副委員長を務めます。

職務をしっかり果たしていきたいと思ひます。

## 新年度予算要望書を市長に提出 市民の声に応える予算編成へ

新年度の予算編成にあたり、昨年11月5日、災害復興を最優先としつつ、「人口減少克服」、「子育てや高齢者福祉の向上」、「まちづくりや公共交通の確保」、「教育の振興や活力ある学校づくり」、「農林業や商工観光の振興」等237項目にわたり政策・施策を要望しました。市民の皆さんの必要度・満足度に応えられる市民本位の予算編成となるよう強く要請しました。2月27日から始まる3月定例会が「予算議会」となります。



## 幸せ実感できるまちづくりに全力



復興願うイルミネーション灯、安茂里で



あやとり安茂里公園の竣工式典



1月3日、安茂里成人祝賀式

**編集後記** ◆異常な気候変動が実感される「暖冬」。脱炭素社会に向けライフスタイルを見直すとともに、「命を守る」災害への備え万全に◆選挙戦後の挨拶行き届かないままに台風災害対応で奔走、お許しを◆利権・私物化・隠蔽の安倍政権…政変・政局の年にしたいもの。野党の結束さらに強めたし◆3月議会では代表質問…ご意見・ご要望を◆新型コロナウイルス、インフルエンザの猛威が心配。ご自愛を(布)